

「認知症に関する意識・意向調査」について

1. 調査の目的

認知症に関する計画・条例の検討を進めるにあたり、認知症に関する認識や理解、社会参加の機会、施策として望むこと等について、アンケート調査を行う。

2. 調査対象

- (1) 幅広い世代の認知症に対する意識や認識を把握するために、満 18 歳以上の区民 2,900 人（無作為抽出）を調査対象とする。
- (2) 認知症の方や家族等の当事者の意見を把握するために、認知症やその家族 100 人程度を別途調査対象とする。

3. 調査票（調査項目）の趣旨

- (1) 幅広い世代の認知症に関する理解や知識、認知症に対して抱くイメージを調査し、認知症の方が正しく理解され、尊重される地域社会の実現に向けて取組を充実する。
- (2) 認知症の相談窓口や事業の認知度、認知症の方の生活上の不安、家族の介護の負担感や区民の認知症の方との関わりについて、現状を調査し、認知症の方や家族等が、医療や福祉、地域の支えにより、生き生きと生活できる地域社会の実現を目指す。
- (3) 誰もが認知症になる可能性があり、すべての区民が認知症を自分ごとと捉え、認知症予防に取り組む地域社会を実現することが大切であることから、認知症予防に関する区民の意識を調査する。
- (4) その他、認知症に関して充実してほしい支援について調査し、今後の区や関係機関の支援の充実につなげていく。

4. 具体的調査項目

別紙調査票のとおり

葛飾区 認知症に関する意識・意向調査

【調査ご協力のお願い】

区民の皆さまには、日頃から区政に対し、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。葛飾区では、認知症の方の意思が尊重され、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる社会の実現に向けて、認知症に関する取組みを総合的に推進するため、「(仮称)葛飾区認知症施策推進計画」を策定してまいります。あわせて、認知症への理解促進に向けた条例を制定していくこととされています。

この計画の策定及び条例の制定にあたり、区民の皆さまから幅広くご意見をうかがうため、「葛飾区認知症に関する意識・意向調査」を行うこととしました。

この調査は、住民基本台帳から無作為に抽出した満18歳以上の2,900人の方にお送りしています。また、認知症の方やそのご家族100人の方にも個別にお願いしています。

調査結果はすべて統計的処理をいたしますので、個人が特定されることはありません。この調査目的にのみ使用し、他の目的で使われることは一切ございません。

回答に必要な時間は〇〇分程度です。お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和7(2025)年3月 葛飾区

～ご回答にあたってのお願い～

- ご回答は、宛名のご本人がご記入ください。ご本人による記入が難しい場合は、ご本人の考えを確認し、ご家族などが代わりにご記入ください。
- 質問をよく読んで、ご回答ください。あなたの考え方にあてはまる番号を選んでください。〇の数は、設問によって1つの場合と複数の場合があります。「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある()内に具体的な内容をご記入ください。
- 郵送で回答される場合**
この調査票にご回答の上、お名前や住所は書かずに、**〇〇月〇〇日(〇)まで**に同封の封筒(切手不要)に入れて、そのままポストに投函してください。
- インターネットで回答される場合**
本調査はパソコン、タブレット、スマートフォンからでも回答できます。下記専用サイトをご利用ください。画面の指示に従って、**〇〇月〇〇日(〇)まで**に送信してください。

調査専用サイト URL :

調査 ID
パスワード

調査の最初のページにおいて、左記の調査ID・パスワードを入力してください。

二次元コード

【お問い合わせ先】 葛飾区 高齢者支援課

電話 : 03- x x x x - x x x x Email: x x x @ x x x . x x x .lg.jp

※ご本人による記入が難しい場合は、ご本人の考えを確認し、ご家族などが代わりにご記入ください。

問11 あなたの現在の不安は、次のうちどれですか。(○はいくつでも)

1. 家族に身体的・精神的負担をかけるのではないかと
2. 周囲に迷惑をかけてしまうのではないかと
3. これまでできていたこと(買い物や料理、洗濯、掃除、車の運転など)ができなくなってしまうのではないかと
4. 自宅で生活することができなくなるのではないかと
5. 自分や家族のことがわからなくなるのではないかと
6. 誇りを持って生活できなくなるのではないかと
7. 自分の意見を伝えられなくなるのではないかと
8. 食事やトイレなどの介助が必要になるのではないかと
9. 外出して行方がわからなくなるのではないかと
10. その他 ()

問12 あなたの今後の生活についてお考えに近いものをお選びください。(○は1つだけ)

1. 家族の支援や介護サービスを利用して最後まで自宅で生活したい
2. 食事やトイレなどの身の回りのことができなくなったら介護施設に入所したい
3. 介護施設に入所したい
4. その他 ()
5. わからない

問13 あなたはあなたが認知症であることを近所の人に知ってもらいたいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 知ってもらいたい
2. 知ってもらい、見守りや声かけなど協力をお願いしたい
3. 隠す必要もないが、あえてそのことを知ってもらいたいと思わない
4. できれば知られたくない
5. 知られたくない
6. その他 ()
7. わからない

2. 認知症に関する知識と認識についておたずねします

問15 あなたの認知症に対するイメージは、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

	そう思う	まあ そう思う	あまりそう おも 思わない	そう おも 思わない
回答例 ⇒	1	②	3	4
1. 認知症になっても、できないことを工夫していきいきと生活することができる	1	2	3	4
2. 認知症になっても、家族や医療・介護などのサポートを利用すれば自立した生活を送ることができる	1	2	3	4
3. 認知症になると、身の回りのことができなくなるため、介護施設に入ることが必要になる	1	2	3	4
4. 認知症になると、暴言、暴力など周りの人に迷惑をかけてしまうので、地域で生活することが難しい	1	2	3	4
5. 認知症の症状が進行すると何もできなくなってしまう	1	2	3	4

問16 認知症について、あなたが知っていることを選んでください。(〇はいくつでも)

- 認知症は誰にでも発症する可能性がある
- 認知症の発症には食生活や運動習慣、睡眠やストレスなどが関係していることが指摘されている
- 認知症には種類(アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症など)がある
- 認知症は治療で症状が改善する場合がある
- 早期の治療で認知症の進行を遅らせることができる場合がある
- 認知症は、記憶や理解・判断力が低下するため、これまでできたことができなくなる
- 認知症は、不安、うつ状態、幻覚・妄想、興奮などを伴うことがある
- 記憶力の低下などはあるが、認知症ではない状態を軽度認知障害(MCI)といい、認知症の前段階としてとらえられている
- その他 ()
- 該当なし

問17 認知症に関する相談窓口について、知っているものをご回答ください。
(○はそれぞれひとつだけ)

1. 高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）

高齢者のみなさまが住み慣れた地域で安心して暮らすため、区内14か所に設置された身近な相談窓口です。介護保険の案内や介護の問題、認知症の方の権利擁護などの相談を受け付けています。このことについてあなたは知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

2. 高齢者見守り相談窓口

区役所の高齢者支援課では65歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、認知症高齢者など地域で見守り支援を必要とする方を対象に、区職員等が高齢者宅を訪問し、日常生活の支援につなげる高齢者見守り相談窓口を設置しています。このことをあなたは知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

3. 認知症サポート医・認知症連携医

区内の医療機関には、認知症について高い専門性を持った認知症サポート医や認知症連携医がいて、認知症の診断や治療に関する相談を受けています。このことについてあなたは知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

4. もの忘れ外来

もの忘れの自覚がある方に対して、各種の検査を行い、認知機能の状態を確認・評価し、治療につなげるもの忘れ外来が設けられています。このことについてあなたは知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

問18 あなたは、認知症を予防するために、効果があると思うものは何ですか。
(○はいくつでも)

1. 規則正しい食生活を送る
2. タバコを吸わない
3. 定期的に運動をする
4. 趣味を持つ
5. 仕事やボランティア活動をする
6. 家族や地域の人と積極的にコミュニケーションをとる
7. 友人や仲間をつくる
8. 閉じこもらずに外出する
9. 定期的に健康診査を受ける (もの忘れ予防健診を受ける)
10. 糖尿病などの生活習慣病を予防する
11. その他 ()
12. 上記に該当なし

問19 あなたは、認知症を予防するために、取り組んでいるものは何ですか。
(○はいくつでも)

1. 規則正しい食生活を送る
2. タバコを吸わない
3. 定期的に運動をする
4. 趣味を持つ
5. 仕事やボランティア活動をする
6. 家族や地域の人と積極的にコミュニケーションをとる
7. 友人や仲間をつくる
8. 閉じこもらずに外出する
9. 定期的に健康診査を受ける (もの忘れ予防健診を受ける)
10. 糖尿病などの生活習慣病を予防する
11. その他 ()
12. 上記に該当なし

問20 若年性認知症とは65歳未満で認知症状が発症するものです。発症する年齢が平均54.4歳と若いことから、高齢期の認知症との違いを知ることが大切とされています。

1. 若年性認知症のことにあなただけは知っていますか。

1. 知っている

2. 知らない

2. 若年性認知症の世代では夫婦間の問題、子どもの養育や教育など、家庭内に大きな問題を引き起こすことがあるといわれています。このことについてあなたは知っていますか。

1. 知っている

2. 知らない

3. また、介護者は配偶者に集中することが多く、介護者は、気分が落ち込んだり、孤立感を感じたりすることがあるといわれています。このことについてあなたは知っていますか。

1. 知っている

2. 知らない

4. 若年性認知症総合支援センター

専任の若年性認知症支援コーディネーターが、電話・面談・訪問を行いながら、ご本人のニーズや状態に応じて、ワンストップ支援により、就労継続、介護などの多岐に渡る情報を提供しています。このことについてあなたは知っていますか。

1. 知っている

2. 知らない

3. 認知症の方との関わりについておたずねします

問21 あなたは、今までに認知症の方と接した経験がありますか。(〇はいくつでも)

1. 家族や親戚に認知症の方がいた (いる)
2. 友人、知人や近隣に認知症の方がいた (いる)
3. ボランティア活動の場に認知症の方がいた (いる)
4. サークル・趣味の活動の場に認知症の方がいた (いる)
5. 職場に認知症の方がいた (いる)
6. 1～5以外→具体的に ()
7. 経験はない

問22 あなたは、近所に認知症の方がいたら、どのように接しますか。現在のお気持ちに最も近いものをご回答ください。(〇は1つだけ)

1. 会ったら自分から声をかける、話しかける
2. 何か困っている様子があったら声をかける
3. どのように接して良いかわからないので遠くで見守る
4. できるだけ関わらないようにする
5. その他 ()
6. わからない

4. 認知症への不安や生活についておたずねします

問23 あなたは認知症になることに対して、不安がありますか。

1. ある

2. ない →問25へ

【問23で「1. ある」を選択した方のみ】

問24 あなたの認知症に対する不安は、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

1. 家族に身体的・精神的負担をかけるのではないかと
2. 周囲に迷惑をかけてしまうのではないかと
3. これまでできていたこと(買い物や料理、洗濯、掃除、車の運転など)ができなくなってしまうのではないかと
4. 自宅で生活することができなくなるのではないかと
5. 自分や家族のことがわからなくなるのではないかと
6. 誇りを持って生活できなくなるのではないかと
7. 自分の意見を伝えられなくなるのではないかと
8. 食事やトイレなどの介助が必要になるのではないかと
9. 外出して行方がわからなくなるのではないかと
10. その他 ()

問25 あなたは、認知症になった場合、どこで生活したいですか。(〇は1つだけ)

1. 家族の支援や介護サービスを利用して最後まで自宅で生活したい
2. 食事やトイレなどの身の回りのことができなくなったら介護施設に入所したい
3. 認知症であるとわかった段階で介護施設に入所したい
4. その他 ()
5. わからない

問26 あなたや家族、身近な人が認知症になった場合、そのことを近所の人に知ってもらいたいと思いますか。(〇は1つだけ)

1. 知ってもらいたい
2. 知ってもらい、見守りや声かけなど協力をお願いしたい
3. 隠す必要もないが、あえてそのことを知ってもらいたいと思わない
4. できれば知られたくない
5. 知られたくない
6. その他 ()
7. わからない

問32 認知症の症状がある方の介護について、あなたが感じる負担は、次のうちどれですか。(○はそれぞれ1つだけ)

負担感	非常に おお 大きい	やや大きい	あまりない	ない
回答例 ⇒	1	2	3	4
1. 食事の介助	1	2	3	4
2. 移動の介助	1	2	3	4
3. トイレの介助	1	2	3	4
4. 入浴の介助	1	2	3	4
5. 不安やうつ症状に対する対応	1	2	3	4
6. 幻覚や妄想への対応	1	2	3	4
7. イライラ、興奮への対応	1	2	3	4
8. 歩き回る、道に迷う	1	2	3	4

6. 地域や周囲の理解についておたずねします

問36 あなたのお住まいの地域は地域のつながりが強いと思いますか（〇は1つだけ）

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない |
| 2. ややそう思う | 4. そう思わない |

問37 あなたは、認知症の方が地域社会のなかで、人格を持った一人の人間として尊重されていると思いますか（〇は1つだけ）

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない |
| 2. ややそう思う | 4. そう思わない |

問38 その理由をお書きください（自由回答）

問39 認知症の方の意思の尊重についてあなたの考え方にもっとも近いものをお答えください（それぞれ1つに〇）

	本人の意思を尊重する	本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する	家族や専門家が代わって判断する
回答例 ⇒	①	2	3
1. 介護サービスに関する事	1	2	3
2. 医療に関する事	1	2	3
3. 財産に関する事	1	2	3
4. 生活に関する事	1	2	3

問40 にい ちしやう かに 認知症の方について、かんにが あなたの考えをこた お答えください（それぞれ1つに○）

	<small>おも</small> そう思う	<small>おも</small> そう思わない
<small>かいとうれい</small> 回答例 ⇒	①	2
1. <small>にい ちしやう</small> 認知症になると <small>なに</small> 何もわからなくなる	1	2
2. <small>もうそう ぼうげん まわ ひと めいわく</small> 妄想や暴言で周りの人に迷惑をかける	1	2
3. <small>にい ちしやう なお</small> 認知症は治らない	1	2
4. <small>にい ちしやう</small> 認知症になることは <small>は</small> 恥ずかしいことだ	1	2
5. <small>にい ちしやう ひと わす らく</small> 認知症の人はすぐ忘れるから楽だ	1	2
6. <small>にい ちしやう ひと かんが</small> 認知症の人が考えていることはわからない	1	2
7. <small>にい ちしやう ひと こうどう りゆう</small> 認知症の人の行動にはすべて理由がある	1	2
8. <small>にい ちしやう ひと じぶん ふあん</small> 認知症の人は自分でもとても不安だ	1	2

7. 区くの取組とりぐみについておたずねします

問41 葛飾区かつしかくが取組とりぐむ以下の認知症い か にんちしょうしやく施策かんれん（関連するものを含む）ふくについて、ご回答かいとうください。
（○はそれぞれ1つずつ）

1. オレンジカフェ（認知症にんちしょうカフェ）

認知症にんちしょうの方かたやその家族かぞく、地域ちいきの方かた、専門せんもんスタッフなどが集い、会話かいわを楽したのむ場所ばしょです。もの忘れわすや認知症にんちしょうに関する相談そうだんができます。

1. 利用りようしたことがある 2. 知しっているが、利用りようしていない 3. 知しらない

2. 認知症にんちしょう高齢者こうれいしゃ家族会かぞくかい

認知症にんちしょうの方かたを介護かいごする家族かぞくやすでに介護かいごを終おえた方々かたがたが集まり、悩みなやみや情報じょうほうを共有きょうゆうし、支さえ合あう場ばです。

1. 利用りようしたことがある 2. 知しっているが、利用りようしていない 3. 知しらない

3. もの忘れわす予防健診よぼうけんしん

区内くないの医療機関いりょうきかんにおいて、医師いしによる問診もんしんと簡単かんたんな検査けんさを行い、認知症にんちしょうの疑いうたがを早期そうきに発見はっけんし、医療機関いりょうきかんの診断しんだんにつなげます。

1. 利用りようしたことがある 2. 知しっているが、利用りようしていない 3. 知しらない

4. もの忘れ訪問わすサポート（認知症にんちしょう初期集しきしゅう中支援ちゅうしえんチーム）

認知症にんちしょうは早期発見そうきはっけん・早期支援そうきしえんが大切たいせつです。看護師かんごしなどの専門職せんもんしやくが、認知症にんちしょうが疑うたがわれる方等かたとうのご家庭かていを訪問ほうもんして病院受診びょういんじゆしんや介護サービス利用かいごりよう、家族支援かぞくしえんなどの初期支援しきしえんを集しゅう中ちゅう的てきに行おこないます。

1. 利用りようしたことがある 2. 知しっているが、利用りようしていない 3. 知しらない

5. 家族介護者かぞくかいごしゃほっとあんしんダイヤル

「介護保険かいごほけんってなに？」「どこに相談そうだんすればいいの？」「家族の介護かぞくかいごに疲れた」など、介護かいごに関する悩みなやみや困り事こまごとなど、家族を介護かいごしている方からの相談かたに、福祉ふくしや医療いりょうなどの資格しやくを有する職員しやくが電話でんわで応じます。

1. 利用りようしたことがある 2. 知しっているが、利用りようしていない 3. 知しらない

6. おうちで学まなぶ快適介護かいてきかいご

在宅ざいたくで高齢者等こうれいしゃとうを介護かいごしているご家族かぞくが、日頃困難ひごろこんなんに感じている介護方法かいごほうほうについて、ホームヘルパー等とうがご自宅じたくを訪問ほうもんして、実演じつえんを交まじえながら介護のコツかいごをわかりやすく指導しどうし、介護に関する知識ちしきや技術ぎじゆつのアドバイスをします。

1. 利用りようしたことがある 2. 知しっているが、利用りようしていない 3. 知しらない

問43 あなたは、認知症の方やご家族への支援で今後充実していかなければならないものは、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

1. 認知症の方を介護している人のための介護教室
2. 認知症に関する正しい知識を持った支援者の養成
3. 認知症に関する正しい知識を普及するための啓発活動
4. 若年性認知症の方への相談支援
5. 近隣住民などによる見守り
6. 行方不明の認知症の方を早期発見するための取組
7. 判断能力が不十分な方を法的に保護する成年後見制度の利用
8. 認知症に関する相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み (例：介護相談)
9. 認知症の方を介護する家族の交流などができる場 (例：認知症家族の会)
10. 電球交換や草むしりなど、簡単な家事を支えるサービス
11. 認知症の方が社会参加できる場 (例：サロン・カフェ、ボランティア活動など)
12. 地域からの孤立防止や安否確認のための定期的な訪問
13. 認知症専門医の紹介
14. 認知症グループホームなどの施設整備
15. その他 ()
16. 特にない
17. わからない

問44 認知症についてのご意見・ご要望を自由にご記入ください。

アンケートにご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

郵送で回答される場合は、ご記入いただきました調査票を、同封の返信用封筒

(切手不要)に入れて、〇月〇日(〇)までに投函してください。